A　聞くこと・話すこと

聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　身近な人の話や簡単な放送などを聞き，聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして，話の大体を捉えること。

イ　話す事柄を思い浮かべ，伝えたいことを決めること。

ウ　見聞きしたことや経験したこと，自分の意見などについて，内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。

エ　自己紹介や電話の受け答えなど，相手や目的に応じた話し方で話すこと。

オ　相手の話に関心をもち，分かったことや感じたことを伝え合い，考えをもつこと。

B　書くこと

書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　見聞きしたことや経験したことの中から，伝えたい事柄を選び，書く内容を大まかにまとめること。

イ　相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

ウ　文の構成，語句の使い方に気を付けて書くこと。

エ　自分が書いたものを読み返し，間違いを正すこと。

オ　文章に対する感想をもち，伝え合うこと。

C　読むこと

読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　簡単な文や文章を読み，情景や場面の様子，登場人物の心情などを想像すること。

イ　語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。

ウ　日常生活で必要な語句や文章などを読み，行動すること。

エ　文章を読んで分かったことを伝えたり，感想をもったりすること。

○２段階

(1) 目　標

ア　日常生活や社会生活，職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に親しむことができるようにする。

イ　筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い，日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをまとめることができるようにする。

ウ　言葉がもつよさに気付くとともに，いろいろな図書に親しみ，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

(2) 内　容

〔知識及び技能〕

ア　言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 日常生活の中での周りの人とのやり取りを通して，言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。

(ｲ) 発声や発音に気を付けたり，声の大きさを調節したりして話すこと。

(ｳ) 長音，拗音，促音，撥音などの表記や助詞の使い方を理解し，文や文章の中で使うこと。

(ｴ) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し，使える範囲を広げること。

(ｵ) 修飾と被修飾との関係，指示する語句の役割について理解すること。

(ｶ) 敬体と常体があることを理解し，その違いに注意しながら書くこと。

(ｷ) 内容の大体を意識しながら音読すること。

イ　話や文章の中に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 考えとそれを支える理由など，情報と情報との関係について理解すること。

(ｲ) 必要な語や語句の書き留め方や，比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使うこと。

ウ　我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。